

教育目標		「いのち」かがやく 瑞穂の子 ～心豊かに たくましく～						
重点目標		1確かな学力の向上 2豊かな心づくり 3体力の向上 4学年・学級経営の充実 5家庭・地域・関係機関との連携 6教職員の育成						
主要 施策	施策目標 基本施策	重点項目	具体的施策	達成目標	自己評価	成果と課題	改善策	学校関係者の評価
知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成 学校教育	「確かな学力」の育成 ①授業改善 ②誰一人取り残さない取組 ③学校・家庭・地域の連携	・基礎的・基本的な知識・技能の習得 ・読書活動の充実 ・学習形態を工夫し、思考力・判断力・表現力の向上を図る ・学びを深め合う学習集団づくりに努め、学習意欲の向上を図る	・教科担任制が進められるような時間割を組み、子どもたちにより専門的な授業を行えるように工夫する。 ・教科横断的な授業が組めるよう、カリキュラムマネジメントを進める。 ・主体的な学びにつながるよう、「一人学び」「グループ学び」「全体学び」の授業構成を仕組む。 ・考えが深まる話し合いになるための「手立て」を考える。 ・つけたい力を明確にした授業を行う。系統指導の徹底。 ・さわやかタイムを活用し、語彙力を高める学習を行う。 ・毎週水曜日全クラスで朝読書を実施する。 ・学級文庫、学年ブックトラックの本の充実。 ・読書記録カード、読書の掲示、表彰などの取り組みを行い、読書に興味を持たせる。	・児童アンケートで「授業はわかりやすく楽しいですか」という質問に対して肯定的回答の割合が90%以上になる。(研究) ・児童アンケートで「読書することを楽しんでいますか」という質問に対して肯定的回答の割合が80%以上になる。 ・読書冊数が1人あたり、一年間で50冊以上になる。	A	・「読書することを楽しんでいますか」という質問に対して、肯定的回答86%であり、おおむねの児童が50冊以上読書している。電子図書の導入もあり本への興味が少し増えた。 ・「授業はわかりやすく楽しいですか」という質問に対して肯定的回答が90%であった。	・引き続き、子どもたちがすぐに本を手にとることができるような環境整備を続けていく。 ・授業で本を活用しやすいように、調べ学習用の本を保管している第2図書室の整備を行ったり、電子図書を利用していく。 ・来年度も全校で学力向上プランを重点的に取り組んでいく。	・数値目標が達成されており、確かな学力が育成されている。具体的施策が明確でわかりやすいので、高い成果に繋がっている。 ・授業に関する児童アンケートが高い肯定的数値を示しており、先生の取組と頑張りが高く評価する。引き続き政策の継続をお願いする。 ・授業を参観した時、いつも丁寧で楽しい授業で素晴らしい。教職員の教える力等によって、楽しく取り組めたりばらつきがあるかもしれない。教職員の育成もお願いしたい。 ・学校・家庭・地域の連携が掲げられているが、児童アンケートで「家で進んで学習していますか？」の肯定的評価が低いのが気になる。家庭学習が楽しく取り組める仕組みの構築を期待する。 ・1年で50冊以上とは1週間に1冊は本を読んでいるので、今後も続けて欲しい。読書習慣の充実で、基礎学力として国語力の向上ができていく。読み聞かせを楽しんでもらうためにも、ぜひ図書ボランティアに協力させてほしい。
	新しい時代に対応した教育の推進 ①情報活用能力の育成 ②英語教育の充実 ③デジタル化の促進	・児童の情報活用能力の育成 ・教師の情報活用能力の育成 ・英語教育の充実 ・デジタル化の促進	・タブレットの操作などにおいて、教師・児童の情報活用能力を高める研修を行う。 ・情報教育の年間カリキュラムを作成し、それに基づいて授業を行う。 ・JTEやALTと連携し、必然性のある言語活動を軸に授業が行えるようにする。 ・デジタル教材を多用し、視覚的に学習を進める。	・児童アンケートで「タブレットを活用した授業は分かりやすい」と回答した割合が、80%以上になる。また、教職員アンケートで「ICT機器(タブレット)を活用した教育活動を行っている」と回答した割合が80%以上になる。 ・児童アンケートの「外国語活動・英語の学習は楽しい」と回答した割合が80%以上になる。	A	・「タブレットをつかった授業はわかりやすいですか」という質問に対して、肯定的な回答が95%であった。 ・教員のICTの活用については、肯定的な回答は94%であった。 ・課題として、年間カリキュラムの活用を広めていくことがあった。	・引き続き、ICTの活用を推進していくとともに、まなびポケットなどの新しいことの周知や研修をしていく。	・「外国語の学習が楽しいですか？」の肯定的評価が大幅に上昇し素晴らしい。 ・英語学習は、各家庭の取組や重視具合により偏りがある。できるだけオールイングリッシュの授業で、英語への特別意識をなくしてほしい。 ・ICTは更に成長するのでAIの活用等も含めて情報収集が必要。若い教員も増えICT活用に肯定的でありボトムアップ型研修も期待する。 ・タブレット使用の授業が定着してきた一方で、英語学習はグループでの会話を重視し、実践的内容を盛り込んでほしい。
	「豊かな心」の育成 ①道徳教育の推進 ②いじめ等の未然防止、早期発見、早期対応に向けての組織的な取組の推進 ③不登校の児童生徒やその保護者への支援体制の充実 ④体験活動等の実施	・道徳の時間を要して、体験活動の充実を図り、道徳的実践的・自尊感情を育む ・いじめ問題への対応力の向上	・道徳の時間の充実(道徳と人権教育の授業参観をそれぞれ年1回以上実施) ・児童の共通理解の場をもつ。 ・教師自身の人権感覚を磨くため、研修に参加する。 ・いじめ等に関する実態把握のためのアンケート調査を実施することで実態把握を行い、迅速な対応を行う。また、いじめ予防のために、学級経営プラン(みずほ子プラン)を基にした研修会を行う。	・児童アンケートで「学校へ行くのが楽しいですか」という質問に対して肯定的回答の割合が90%になる。	B	・道徳と人権教育の授業参観をそれぞれ年1回以上実施した。 児童アンケートでは、「学校は楽しいか」の項目で94%が肯定的な回答をしており、目標を上回った。 ・学級経営プランを通して、身近な教員同士の学級経営のコツを知ったり、学級の様子や授業の様子を振り返ったりすることで、学級経営力の向上を図ることができた。	児童アンケートでは、肯定的回答ではない6%の児童がいることを忘れず、児童に寄り添っていくことが必要である。	・誰一人取り残さない対応が重要であり、学校経営プランを通して情報共有が大切である。担任の先生の個性も活かしながら、学年・学校チーム全体での対応には、時間確保や地域連携、学校を支える組織構築が必要。 ・不登校対策の充実と、不登校児童等の子どもの居場所づくりを継続してほしい。クラス以外にも安心できる場所があるのは大切である。 ・不登校の施策目標にかけられているが、具体施策以降にも来年度は明記して取組を期待したい。 ・不登校支援の先生やスマイルスタッフが遅れてきた児童を温かく向かえる場面に遭遇し、児童の安心した顔を見て、瑞穂小の心地の良い温かい雰囲気を感じた。
	「健やかな体」の育成 ①児童生徒の体力向上の促進 ②魅力ある部活動の推進 ③発達段階に応じた健全な食育の推進	・体力向上と健康の保持増進	・学年ごとに体力を向上させる運動を年間通じて実施し、体力向上に努める。 ・基本的な生活習慣について、保健や食育等の時間を中心に日々の生活の中で指導を継続的に行う。 ・保護者と協力しながら早寝・早起き・朝ごはんの指導にあたる。 ・アレルギー対策委員会や研修を年間2回以上ひらくことで、職員の共通理解を深める。	・体力作りの取り組みを実施し、多様な動きを身につけさせるとともに、全国の平均の数値を目指す。 ・児童アンケートで「毎日、早寝早起きをし、朝ご飯を食べていますか」という質問に対して肯定的回答の割合が85%以上になる。 ・給食アレルギー対応プランの確実な実施のためのシステムを構築する。	B	・カリキュラムに多数の運動領域を取り入れた。一方で全国体力調査の平均を上回った項目が1つだけであった。 ・アレルギー対策委員会と研修を年間3回行った。アレルギー対応プランに沿って、大きな事故なく給食を実施できた。 ・早寝・早起き・朝ごはん調査で、委員会活動を通じて生活習慣の見直し、特に睡眠時間に問題があることがわかり、情報発信・啓発をした。	・運動習慣を身につけるような働きかけを続ける。例:体育委員会主催の朝の運動 ・カリキュラムの精選を行う。 ・引き続き委員会や研修等を通して教職員の共通理解を深め、安全な給食の実施に努める。 ・伊丹市も睡眠教育に焦点を当てていくということなので、継続して取組を行う。	・確かな学力の確保は、健やかな体の育成があつてこそ。外で遊ぶように進めてほしい。また、全国体力調査が数年前は全国平均より高かった。当時の取組を再度探してみたらどうか。 ・3学期の大縄大会は練習も含め皆で協力し力合わせる経験もできてとても良い。 ・中学の部活動が地域移行となり、スポーツを行う環境も変化する。楽しく運動する習慣を推進してほしい。 ・アレルギー対応や、食育指導もよろしく願います。

<p>教育相談・支援体制の充実</p> <p>①キャリア教育の推進 ②スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用 ③教育相談の充実</p>	<p>・キャリア教育の推進 ・一人一人の子どもにとって、「心の居場所」のある学級作りの実践</p>	<p>・キャリアパスポートを活用し、一年ごとの成長を記録するとともに、定期的に自分の成長を振り返る機会を作り自己肯定感を高める。 ・必要な児童がSCを活用し、心の安定を保てるように働きかける。</p>	<p>・児童アンケートで「自分には良いところがあると思っている。」と回答した割合が80%以上になる。 ・SCについて職員に周知し、積極的に活用する。</p>	<p>A</p>	<p>・児童アンケートでは、「自分にはよいところがあると思っていますか」の項目で81%が肯定的な回答をしており、目標を上回った。</p>	<p>児童アンケートでは、肯定的回答ではない19%の児童がいることを忘れず、子どもたちが自分に自信を持てるような関わりや指導を継続していくことが必要である。</p>	<p>・「自分には良いところがあると思っている」児童が81%は低すぎ、「思っていない」19%に驚いた。 ・自信がない子は日常で兆候が見られるのか。絶対に良いところがあるので気づかせてあげたい。100%を目標に、教育相談、良いところ探し、ほめ言葉シャワー等にも取り組んでほしい。 ・キャリアパスポートを小中連携での活用を願う。</p>
<p>特別支援教育の推進</p> <p>①伊丹特別支援学校の活性化 ②特別支援教育の充実</p>	<p>・特別支援教育の充実 ・一人一人の教育的ニーズを把握し、関係機関と連携し、適切な教育的支援を行う</p>	<p>・伊丹特別支援学校センター機能を活用し、より円滑な組織づくりに努める。 ・適切に特別支援教育支援員を配置して、より充実したサポートとなるよう推進していく。 ・配慮を要する児童の特性や支援について、校内委員会や校内研修で交流し、関連機関との積極的な連携を図る。</p>	<p>・伊丹特別支援学校センター機能を職員に周知し、コンサルテーションの実施など、関連機関と積極的に連携する。 ・特別支援教育支援員の時間割を作成し、児童の実態に応じて、年3回以上見直す。 ・全職員が配慮を要する児童を理解するための研修会を年2回以上実施する。</p>	<p>A</p>	<p>・コンサルテーション、巡回相談、教育相談を合計17回行い、専門的な立場からの助言を受け、サポートファイルを作成したり、日々の指導に生かしてきた。 ・特別支援教育支援員、スクールサポーターの時間割は月別報告の実態に応じて、毎月見直しをした。 ・児童理解のための研修会を2回、講師を招いての研修会を2回実施した。</p>	<p>・児童の実態把握をし、必要に応じて早期に伊丹特別支援学校センター機能を活用していきたい。 ・特別支援教育支援員、スクールサポーターと日々の情報交換を継続して行い、配慮を要する児童への支援をより充実させていきたい。</p>	<p>・一人一人に寄り添うサポートは先生の数も足りず大変と思うが、それぞれの特性を理解し、集団生活で苦労しないように支援されていると感じる。 ・きめ細かなとされていて素晴らしい。引き続き充実した内容に期待している。 ・不登校対策と合わせて誰1人取り残さない取組を具体的に取組んでいただきたい。</p>
<p>教職員の資質向上</p> <p>①研修等の充実</p>	<p>・実践的指導力の向上</p>	<p>・一人一授業を行い、授業力向上を図る。 ・計画的に研究授業を行い、講師の先生より授業作りについて研修する。 ・自主研修会(午後teaの会)を開き、多岐にわたって研修する。</p>	<p>・教職員アンケートの『計画的な授業研究と研修を行えたか』の質問に対して「そう思う」の回答の割合が50%以上になる。 ・教職員アンケートの『よくわかる授業づくりに努める』の質問に対して「そう思う」の回答の割合が50%以上になる。</p>	<p>A</p>	<p>・『計画的な授業研究と研修を行えたか』の質問に対して「そう思う」の回答が81%で、目標を超えていた。 ・『よくわかる授業づくりに努める』の質問に対して「そう思う」の回答が71%で、目標を超えていた。</p>	<p>・来年度も引き続き、具体的施策を重点的に取り組んでいく。</p>	<p>・実践的指導力の高い授業を見て、児童が気づきと学びを得ることが一番効果が高いと感じた。 ・授業力向上は、実際にはもっと深掘りされていることは、高い肯定的評価を見ても明らか。更に具体的にどうすれば授業力が上がるのか、引き続き推進してほしい。 ・民間の研修も取り入れるべきではないか。</p>
<p>教育環境の整備・充実</p> <p>①コミュニティ・スクールの充実 ②地域と学校の連携・協働体制の構築</p> <p>安全・安心な教育環境の充実</p> <p>①学校園防犯訓練・防災教育の充実 ②子どもの安全対策の推進 ③交通安全対策の推進 ④学校園施設の整備・維持保全 ⑤学校における働き方改革の推進</p>	<p>・開かれた学校づくり</p>	<p>・学校運営協議会を開催し、授業参観、情報交換、課題改善に向けた協議を行う。 ・授業参観やオープンスクールを行う。</p>	<p>・保護者アンケートで「学校は、適切に参観の機会を設けている」、「学校は、保護者の願いに応えようとしている。」と回答した割合が共に80%以上になる。</p>	<p>A</p>	<p>・保護者アンケートで「学校は、適切に参観の機会を設けている」、「学校は、保護者の願いに応えようとしている。」の項目で共に肯定的な回答が80%を上回った。</p>	<p>・学校運営協議会で、授業参観、情報交換、課題改善に向けた協議を引き続き行う。 ・授業参観やオープンスクールを行い、児童の様子を保護者や地域の方に知ってもらう。</p>	<p>・授業参観やオープンスクールで、学校での学習や休み時間、友達との関わりの様子がよく分かった。先生の授業の取組や意識も分かった。 ・ふれあい祭の地域交流会や、教職員と委員との合同研修会は生の声が聞ける良い機会であった。 ・ミシンボランティアなど先生のお困り事を遠慮せずに地域に投げかけてほしい。</p>
<p>・安全に留意し、落ち着いた学校生活の整備</p>	<p>・年に1回防犯・防災訓練を行う。 ・年に1回火災訓練を行う。 ・学期に1回登校指導を行う。1学期に引き渡し訓練、一斉下校を行う。 ・1ヶ月に1回教室等の整備を確認・報告する。該当箇所のある場合、技能員に報告し維持保全に努める。 ・週に1回定時退勤日を守るように努める。年に1回労働安全衛生委員会を開き、働き方改革をしていくように努める。</p>	<p>・児童アンケートで「災害が起きたときにどのように行動すればいいか知っている」と回答した割合が85%以上、「知らない人に声を掛けられそうになったり、おそれそうになったりしたときに、どうしたらいいか知っている」の回答が86%で、目標は達成していないが、肯定的な回答(ややそう思うを含む)はともに90%をこえているので、意識は高まっているように感じている。 ・保護者アンケートで「あなたのお子さんは災害時の行動の仕方を身に付けている」と回答した割合が40%以上、「あなたのお子さんは、不審者に対する対応の仕方を身に付けている」と回答した割合が30%以上になる。</p>	<p>B</p>	<p>・児童アンケートで「災害が起きたときにどのように行動すればいいか知っている」の回答が77%、「知らない人に声を掛けられそうになったり、おそれそうになったりしたときに、どうしたらいいか知っている」の回答が86%で、目標は達成していないが、肯定的な回答(ややそう思うを含む)はともに90%をこえているので、意識は高まっているように感じている。 ・保護者アンケートで「あなたのお子さんは災害時の行動の仕方を身に付けている」の回答が53%、「あなたのお子さんは不審者に対する対応の仕方を身に付けている」の回答が57%で、児童と保護者の感覚の違いがあった。学校が行っている訓練の認知度が低いのではないかと考えられる。</p>	<p>・「ややそう思う」を「そう思う」にしていくために、児童を含めた訓練を続けていく。避難訓練の前後だけでなく、普段から災害時取るべき行動などを伝えていく。 ・不審者対応では、学校で学んだことを家でも自分のことばで家族にアウトプットすることで、家庭も含めて対応について考えてもらうように促す。 ・訓練の様子を学校だよりや教室で振り返りをし、子どもが家でお家の人と対応について考えるように伝える。</p>	<p>・災害は忘れたときにやってくる。常に危機管理意識を持っておくことが必要。 ・校内の不審者対策についてもお願する。 ・訓練の日の宿題で、保護者に「今日はこんな訓練した」と伝えることも効果的である。 ・PTAとしてできることも多いので、PTAからも各家庭へ発信し理解を得たい。 ・自転車事故についても気をつけて欲しい。 ・ピクトグラムがさらに授業に生かせるよう整備や仕組みを作っていく。幼稚園にもどんどん来てほしい。 ・定時退勤や働き方改革が進むようにやることも大事だが、やらないことを捨てることも重要。そのために地域が協働できる場所は振ってください。</p>	

学校関係者評価総括
 学校長の学校経営方針に沿った良好な学校運営だと感じる。全体的に目標と政策成果が課題改善策の流れに沿って堅実に取り組まれている。
 学校が落ち着き、学力が向上していると感じる。楽しい授業が毎日されていてすごくいい。先生が事前に準備されていることも分かった。丁寧な授業の声かけ等、良い小学校だと思う。

次年度に向けた重点的な改善点
 体力と自尊感情の項目が心配である。教育委員会や他校と情報共有をして改善策を実施していただきたい。民間の力も活用し、より良い児童と教職員の育成に尽力していただきたい。

自己評価の基準 A:目標を上回った B:目標どおりに達成できた C:目標をやや下回った D:目標を大きく下回った